

だて市政だより 災害対策号

【第61号】

平成24年7月12日発行

■二つの食卓

当市の家庭では、自家製の野菜や米を食卓にのせるのはごく一般的であり、「お爺さんの作った野菜は美味しい」などの会話は普通でした。

ところが昨年原発事故以来、自家製の野菜を子どもには食べさせられないと若い世代から言われ、結局、お爺さん達の食卓とスーパーなどから福島以外の産地の食品を買った若い世代の食卓は別、すなわち、家庭内に「二つの食卓」という実態があります。

これは、放射能に汚染された食物による内部被曝を恐れてのことであることは言うまでもありません。したがって、内部被曝対策としての食品検査とWBC（ホールボディカウンタ）の検査は、必要不可欠、かつ重要であるわけです。

こうした観点から、7月7・8日の両日に渡り、当市で、ICRP（国際放射線防護委員会）主催の第3回福島原発事故による長期影響地域の生活回復のためのダイアログセミナー、「食品についての対話」が開催されました。

放射能に汚染された可能性のある食品に関して、どのような対策を講じているか、どのように考えているかなど、いろいろな立場の人（ステーキホルダー＝利害関係者）が一堂に会してダイアログ、すなわち率直な考えを述べ合うというものです。参加したのは学者や地元の子を持つ親はもちろん、都会の消費者代表、浜通り地方の市民活動家、大手スーパーや食品販売会社の幹部などのステーキホルダーです。

日本の学者からは、「WBCの検査結果によれば福島の現状は特に心配する状況にはない」、フランスの学者からは、「チェルノブイリと比べて福島の検査体制の立ち上がりは数年早い」などの報告が、都会の消費者代表からは、「厚労大臣が食品の基準を厳しくしたことは評価でき、消費者の安心度合いは確実に上がった一方、福島産だから買わないということから、食品の検査結果の表示により購入の判断をするようになってきている」との報告がありました。大手スーパーなどからは風評被害にさらされている魚などの販売促進や、加工食品の原材料に福島産を使い続けるための努力についての報告があり、販売業者に多少不信感を持っていたことに対しては払拭されるものがありました。

二つの食卓問題は、ある意味、生産者対消費者、地方対都会という観が私にはありましたが、このダイアログを通して大きな歩み寄りがあったような気がします。

毎日食べる食品の安全・安心は非常に重大で、食品の検査や内部被曝に対して十分な関心を持つことは必要です。しかし一方において、あまり神経質になって心的健康被害があってはなりません。

今回は、こうした観点から専門の先生に執筆をお願いすることに致します。

伊達市長 仁志田 昇司

■市内各地域の放射線測定結果

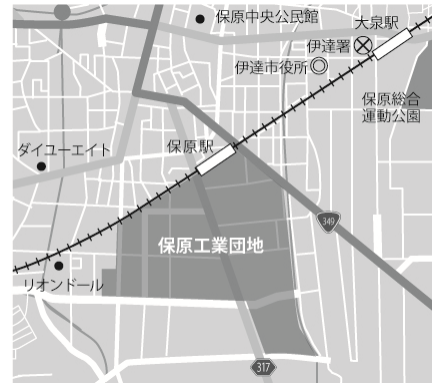
放射線測定値（市測定、★印は国測定）				（単位：マイクロシーベルト/時間）			
測定地点	7/9	7/4	6/29	測定地点	7/9	7/4	6/29
伊達総合支所 正面駐車場	0.35	0.34	0.37	下小国中央集会所 入口★	0.54	0.55	0.57
梁川総合支所 正面銅像前	0.30	0.29	0.31	岩代小国郵便局 国道路肩	0.74	0.74	0.79
保原本庁舎 正面駐車場★	0.39	0.40	0.41	末坂バス停留所 県道路肩	1.18	1.13	1.23
富成郵便局 県道路肩	0.75	0.74	0.76	大木バス停留所 県道路肩	0.52	0.51	0.53
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	1.19	1.23	1.25	月館総合支所 駐車場	0.42	0.42	0.42
富成グリーンタウン タウン内公園	1.38	1.42	1.54	国道399号飯館村境 国道路肩	0.97	0.98	1.00
富成十区集会所 入口	1.90	1.84	2.10	月館相葎公民館 県道路肩	1.22	1.21	1.25
霊山総合支所 駐車場	0.57	0.56	0.59	掛田上組集会所 市道路肩	0.75	0.76	0.78
霊山パーキング 駐車場中央★	0.69	0.72	0.73	掛田日向前団地 集会所前	0.80	0.88	0.97
坂ノ上集会所 入口	0.90	0.92	0.93	県道臼石月館線飯館村境 県道路肩	2.65	2.43	2.52
八木平バス停留所 回転場中央	0.68	0.69	0.73	大柳字栴窪 市道路肩	0.94	1.02	1.10
小国ふれあいセンター 駐車場★	調整中	調整中	0.94				

市民生活部 環境防災課 ☎575-1228

■保原工業団地の除染について

工業製品の風評被害の払拭と、安全安心確保のために、保原工業団地の除染業務を発注しました。

- 発注先 多田建設(株)伊達支店
- 工期 7月2日(月)～12月25日(火)
- 除染対象 企業47社、民家13戸、道路・側溝、子どもたちに開放している企業内運動施設
- 仮置き場 自社敷地内に仮置きする。
 問 市民生活部放射能対策課 ☎575-1003



■草木のごみ出しについて

放射性物質を多く含んでいると思われる草木などは、清掃センターで焼却できる量が限られているため、収集を制限しています。集積場所に出す場合は下記の点に注意してください。

種別	草・芝	木・枝
出し方	①土を取り除き、指定ごみ袋（可燃ごみ）に入れる。 ②ごみ袋に氏名を記載する。 ③草・芝以外のごみは混ぜない。	①ひもで縛る。 ②氏名を書いた紙などを束にはさむ。 ③枝は長さ80cm以下・太さ5cm以下、束の直径は30cm以下とする。
出せる量	1回あたり1家庭3袋まで	1回あたり1家庭3束まで
収集日	燃やせるごみの日	燃やせるごみの日
その他	①氏名が記載されていないごみは収集しません。 ②清掃センターに直接搬入する場合も、1家庭3袋・3束以内とします。 ③除染作業による草木は出せません。	

問 市民生活部環境防災課 ☎575-1228、伊達地方衛生処理組合清掃センター ☎582-2051

■サマーキャンプを実施します

市では、子どもたちが夏休みを利用し自然体験活動などを通して心身ともにリフレッシュできるように、サマーキャンプを実施します。

- 野辺山サマーキャンプ
 - ①日程 7月23日(月)～7月27日(金)
8月6日(月)～8月10日(金)
 - ②場所 長野県南牧村：野辺山学園
 - ③参加者 265人(小学生、乳幼児および保護者)
- 会津高原サマーキャンプ
 - ①日程 8月13日(月)～8月15日(水)
8月15日(水)～8月17日(金)
 - ②場所 南会津町：たかつえスキー場
 - ③参加者 293人(小学生、乳幼児および保護者)



昨年のサマーキャンプ

問 教育委員会教育総務課 ☎577-3245

■避難先から戻られた人へ

伊達市から避難し、避難先の市町村に届け出て「全国避難者情報システム」に登録した人が、避難先から伊達市に戻られた場合は届け出が必要です。住民生活課賠償支援係まで届け出してください。

問 市民生活部市民生活課 ☎575-1126

■積算線量計（ガラスバッジ）の測定結果

昨年9月から一部の人を対象に放射線への不安解消や健康管理のために個人ごとに外部被ばく積算線量の測定を行っています。その結果に基づいて1年間の推定線量の解析を行いましたのでお知らせします。

●対象者 0～15歳の子ども、妊婦、特定避難勧奨地点のある地区の人 合計8,982人

●測定方法 積算線量計（ガラスバッジ）を24時間身に着けて測定

●年間推定線量の解析方法

平成23年9月から平成24年2月までの6カ月間の実測値を2倍して、1年間の推定線量としました。

●解析結果 半数が年間1ミリシーベルト以下でした。

①地域別年間推定線量

線量（ミリシーベルト）	伊達	梁川	保原	霊山	月舘	霊山（※）	月舘（※）	合計（人）	割合
1.0 未満	1,104	1,794	1,200	262	94	36	3	4,493	50.0%
1.0～1.9	347	295	1,555	453	254	133	2	3,039	33.8%
2.0～2.9	6	6	215	89	42	330	6	694	7.7%
3.0～3.9	0	2	47	25	6	270	9	359	4.0%
4.0～4.9	0	1	6	8	0	163	3	181	2.0%
5.0～5.9	0	0	2	2	0	83	5	92	1.0%
6.0～6.9	0	0	0	1	0	50	5	56	0.6%
7.0～7.9	0	0	2	0	0	19	3	24	0.3%
8.0～8.9	0	0	0	0	0	16	0	16	0.2%
9.0～9.9	0	0	0	0	0	4	1	5	0.1%
10.0 以上	0	0	0	0	0	23	0	23	0.3%
合計(人)	1,457	2,098	3,027	840	396	1,127	37	8,982	
平均線量(ミリシーベルト)	0.73	0.60	1.14	1.31	1.32	3.55	4.06	1.29	

※特定避難勧奨地点のある地区の16歳以上の人

②年代別年間推計線量

年代区分	未就学児	幼稚園	保育園	小学校低学年	小学校高学年	中学校	妊婦	霊山（※）	月舘（※）
人数(人)	908	768	712	1,567	1,836	1,922	105	1,127	37
平均線量	1.12	1.10	0.90	0.97	0.90	0.84	0.95	3.55	4.06

※線量の単位はミリシーベルト

※特定避難勧奨地点のある地域の16歳以上の人

解析結果について、伊達市健康管理アドバイザーの宍戸文男氏（福島県立医科大学放射線医学講座教授）から、以下のコメントをいただいています。

- ・子どもたちの積算線量は、学校等の除染の効果も考えられますが、大人と比較しても十分に低い値であり、安心して生活できると言えます。
- ・大人も含め全体をみても、安全とされる20ミリシーベルト／年を十分に下回っていることが確認できます。推定値ではありますが、放射線影響で将来健康への影響は考えにくいです。
- ・今後、市の除染についての指針である1ミリシーベルト／年に向けて、引き続き除染対策が必要と思われます。

■県による出荷(販売)用農産物のモニタリング調査結果

県による伊達市産の出荷(販売)用農産物のモニタリング検査結果(6月20日～7月3日)をお知らせします。

(単位:ベクレル/kg)

品目		採取日	セシウム(134・137合算)
農産物	キュウリ	6/25	—
	サヤインゲン(施設)	6/25	—
	赤シソ	6/25	—
	ミニトマト(施設)	6/25	—
	スモモ	6/29	17
	スモモ	6/29	6.2
	スモモ	6/29	5.9
	スモモ	6/29	4.3
	スモモ	6/29	—
畜産物	鶏肉	6/22	—
	牛肉	6/30	—

【表記について】「—」は、セシウム含有量を検出できる数値以下だったことを示します。

☎産業部農林課 ☎577-3173、福島県環境保全農業課 ☎521-7453

●ブルーベリーの収穫自粛について

保原町で生産されたブルーベリーから、食品衛生上の基準値を超える放射性物質が検出されました。当分の間、保原町で生産されたブルーベリーについては、収穫を差し控えるようお願いします。

■井戸水のモニタリング検査結果

下記の地点の井戸水からは、放射性ヨウ素・セシウムは検出されていません。

測定地点(採取日6/17～7/2)				
梁川	白根	白井沢、柳沢、山岸、中赤松、木ノ田、薬師堂、前ノ作、落合、細野、芳ヶ作、馬場、宮本、中屋敷	五十沢	館、堰表、沼ノ平、北屋敷、滝沢、小坂、荒屋敷、銅屋沢、熊野前、寺前、株木、羽山下
	大関	寺脇、下間野、笠石、下ノ内、田中、棚塚、笠石前、東中沢、塩田	栗野 新田	堀切、八重穂内、栗木内、大治郎内 坂脇、町通、大正寺
	細谷	宮下、道林、山屋敷	八幡	疣石、南
	山舟生	日面	舟生	台、沢梨
	梁川	西土橋、桜岳、南本町、北町頭、栄町、清水町、中町、舟橋	二野袋 柳田	古内、庭渡 並柳
霊山	泉原	仲ノ内	山野川	堂ノ作
保原	中瀬	大前	大泉	大塚
	上保原	流町	大柳	向山、上谷地前
	柱田	中屋敷	所沢	稲場、新井山
月館	月館	砂田、町	糠田	宮下、八斗内

※検出下限値(検出可能な最少の量)は、1ベクレル/kgです。

☎市民生活部環境防災課 ☎575-1228

発行：伊達市災害対策本部(保原本庁舎3階) ☎575-1003